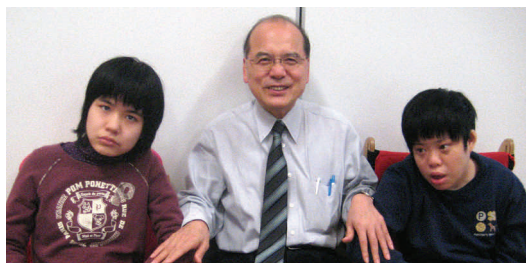




大地

(じねんじょ通信)

発行者: 社会福祉法人じねんじょ
 発行日: 平成21年 3月 31日
 TEL : 083-252-2227
 FAX : 083-252-2259
 E-mail jinenjo@jinenjo.or.jp
 http://www.jinenjo.or.jp



「6年目の春を迎えて :

草木が芽吹く時に」

理事長 金原洋治

啓蟄（けいちつ）の頃になると、さまざまな命が躍動を始めます。長い間土の中で眠っていた虫が地面に顔を出したり、思いがけない場所に草や木の芽が顔を出しますが、私はこの季節が大好きです。

親の会や評議員さんや理事さん他、多くの方々に蒔いていただいた種が芽吹き、職員やボランティアさんや保護者の方々や多くのサポーターの方々と一緒に大切に育ててきました。今年は、5周年という節目の年にあたりますので、蒔いて頂いた種がどのくらい成長したのだろうと振り返り、次の5年間に向けて新しい種を蒔いたり、新芽を育てる計画を立てていく必要があります。今年の秋には、5周年記念事業を行う予定で準備を進めています。改めてご案内させていただきますので、皆様方の参加とご協力よろしくお願い致します。

じねんじょは、地域の人達と一緒に、障害がある人達の支援を行うことを目標に掲げ「地域と共にある」ことを大切にしてきましたので、地域の中に新しい種を蒔いていくことも大切です。しかし、開設当初は、その思いはあっても、自分が成長することにも多くのエネルギーを注ぐことが必要でしたので、地域に種を蒔く余裕がなかったような気がします。しかし、この数年間の活動を振り返ると、自分の心の中に種を蒔きながらも同時に地域の人達の心の中に種を蒔いているのではないかと思える活動が少しずつできはじめているような気がします。遊花フォーラムなど重い障害がある人達の支援に関する勉強会、摂食に関する「ふくふくゴックンの会」、発達障害者支援の支援に関する勉強会などの活動です。これらは、じねんじょ主催の事業ばかりでなく、地域の人達と協力しながら運営している事業もありますが、どれもスタッフだけでなく保護者や地域のサポーターの人達と共に学び合うことを大切にしています。また、日々の活動においても、できるだけ地域の中に出て行き、重い障害がある人達のことをご理解いただくことを大切にしています。

春になって芽がでて美しい花を咲かせるためには厳しい寒さの冬も必要です。じねんじょにも、毎年乗り越えなければならぬ試練が沢山ありましたし、今後もあると思います。でも、その度に、施設長を中心にスタッフが智恵を絞り、皆さんに助けて頂き春を迎えてきました。今後とも、多くの試練があると思いますが、春は必ずくることを信じながら前を向いて進んで行きたいと思えます。

平成21年度 年間行事及び参加する地域行事予定

| | | | |
|-----|-------------------|-------|--------|
| 6月 | 遊花フォーラム | 平成22年 | |
| 7月 | 下関市レクリエーションボッチャ大会 | 1月 | 成人を祝う会 |
| 8月 | 馬関祭り | 3月 | もちつき |
| 9月 | 社協福祉大会（展示） | | |
| 11月 | 5周年記念イベント | | |
| | 下関市障害者交流卓球大会 | | |
| 12月 | 手をつなぐみんなの福祉フェスタ | | |



親子野外活動 ～みすず号に乗って、駅員さん



せーのっ。スロープを使って乗車中…
下関・新下関・幡生の駅から乗りました。

初めての体験
でドキドキ☆



駅員(JR幡生駅)の伊藤さんより
私たちは障害をもっている人達に世間を広げてもらいたいのです。その為のお手伝いなら労もいといません。今後も遠慮なくおっしゃって下さい。又の利用を心よりお待ちしております。



みすず号に乗って、山陰の豊浦リフレッシュパークに行ってきました。たくさんの方に協力をして頂いて、楽しむことができました。ありがとうございました。

地域交流 ～梅光学院大学、学生の声



この会をみんなで作っているという感じがありました。学生は積極的にメンバーさんに関わろうとし、メンバーさんも積極的に関わろうとしていたように思います。私自身、人見知りをする方ですが、この場では違いました。初対面のメンバーさんと関わる時も自然と笑みがこぼれ、とても楽しい時間になりました。これからもこの交流を続けていきたいです。

梅光学院大学4年 白石 由子



冬休み♪クリスマス会で
ダンスをしたよ☆

むく・むかご活動の様子

お正月あそび☆かるたとり
みんな真剣です！！



芋掘りしたよ！
うんとこしょよ！



初詣
生野神社
に行きました。

成人を迎えたメンバーの保護者のひとこと

「成人を迎えて」

緒方 亜弓（隆）

平成1年3月3日に隆は生まれました。おなかの中にいる時は、女の子と言われてたので、ちょうどいいなあと思っていたら、生まれてみるとなんと男の子でした。隆は、2,280gと小さく生まれましたが、すくすくと大きくなり、そのうち、弟や妹もできましたね。なかなか歩けなかった隆ですが、くすの園で鍛えられ、やっと歩けるようになりました。

養護学校で、初めて走れるようになって、とても感動しました。大嫌いなプールも少しずつ慣れ、りりしい制服姿の隆も見られ、小中高と大好きな学校で大好きな給食を食べ成長しました。

今は、大好きなじねんじょで成人を迎えられてとても良かったです。これからも隆なりに少しずつ成長していってこればいいなあと思いました。



「成人を迎えて」

土井 明生（麻衣）

「成人のお祝いの時、何を着せる？」昨年未、妻に尋ねられ思わずポカンとしていました。保健所の二歳検診の時、「少し知能の発達が遅い」と指摘されて二十年近くなります。体の弱かった麻衣もくすの園・養護学校と無事卒業し、今は「じねんじょ」へ通っています。

このごろは喜怒哀楽の表現もだいぶできるようになりました。いやな時は大きな声を上げ、何かして欲しいときはそっとそばに来てはこちらの顔をじっとみつめ、うれしい時は口を大きくあけ白い歯をみせてくれます。私達家族にとって彼女の仕草は何かと心をなごませてくれます。

二十才は自立の年でもあります。彼女の将来に少し不安もありますが、このまま元気で長生きして欲しいと思います。



「小舟の旅」

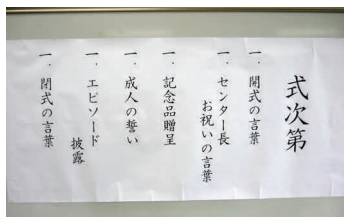
池川 眞澄（平朗）

20年前、家族の乗る小舟に平朗を乗せ大海に漕ぎ出したような気持ちでした。先の見えない果てしない旅は、荒波に揺れる小舟のように不安で一杯でした。今日まで、風雨に負ける事なく何とか無事に進み続けた感じです。

皆様からの明るい日差しと心地よい風に助けられて、やっと20才という港に着くことが出来ました。これからも小舟で肩を寄せ合い、共に生きていきたいと思えます。



～成人を祝う会～





～ひとがつなく ひとをつなく～

サービス管理責任者 杉村粉津枝

いっぱいの人のお思いが詰め込まれた ♪じねんじょの種♪
まかれて5年、どんな芽がでたのか・・・



担当の職員から今回のテーマ「芽生える」「育ち始める」をもらったとき、みんなとともに過ごしてきた日々の光景が脳裏にゆっくりと流れました。

思えば、メンバーさんと過ごした時は楽しいことばかりで、きっとあったはずの苦しみもみんなの笑顔が吹き消してくれていたのだと今実感しました。

「子育ては、自分育て」 私が子育てをしてきての教訓です。わが子を叱ってしまったとき、他人の子を褒めたとき、自分の気持ちをぐっと抑えたとき、わが子から笑顔や優しさをもらったとき、わが子が親離れた瞬間・・・その時そのとき子供は私にいろんなことを考えさせてくれました。そして、一緒に成長させてくれたことに感謝しました。

そんな子育てと同じ感覚にさせてくれる場所。それが「じねんじょ」です。メンバーさんはさまざまな支援に、体いっぱい答えてくれ、未熟な職員にたくさんの気付きと感動と優しさそして人間形成の大切さまでを教えてくれています。そして、その大きなパワーを今度は広く社会に向けて発信し、障害を持つ人たちがもっと暮らしやすい社会になるよう繋いでゆくことが私たちの役目だと感じています。

5年間で芽生え成長した♪じねんじょの種♪はマイペースでゆっくりだけれど確実に根を張り続けていると信じています。少しじれったいと感じるかもしれませんが、温かく見守ってくだされば幸いです。



じねんじょの“輪”

～じねんじょと繋がりのある方々から一言コメント～

★私は梅光学院大学の4年生です。大学3年生の時からじねんじょでお世話になりました。

じねんじょにボランティアに行くようになって、嬉しくなることが一つ増えました。それは、道でじねんじょの送迎バスを見た時です。「あ、じねんじょバスだ」と思ってずっと見ていると乗っているメンバーさんと目が合い、職員さんが手を振ってくれます。あの手のマークのバスは、じねんじょに行ったことのない友達にも有名です。メンバーさんも職員さんも忙しい中での細やかな配慮は本当に素敵です。これからもじねんじょの皆様の活躍を応援しています。

梅光学院大学4年生 児玉 恵

寄付者氏名(敬称略、順不同)

H20.6.1～H21.2.28現在

- ・重症心身障害者地域生活支援センター保護者会
- ・陶芸サロンじねんじょ窯
- ・(有)もみの木薬局
- ・(株)有菌製作所
- ・花笑みの会
- ・室井佳代子
- ・梅光学院幼稚園保護者会
- ・(有)大平物産 SHU-CUP ゴルフコンペ
- ・匿名
- ・さをりサークル
- ・柴田久
- ・やまぐち小児科
- ・かのにの集い
- ・中島明
- ・梅光学院幼稚園

たくさんのご寄付を頂きました。ありがとうございました。

編集後記

桜の花も咲き始め、春色のにわか深まりを感じる頃となつてまいりました。

そして、じねんじょが開設され早くも5年もの歳月が過ぎました。この間、多くの出会いや別れあり、楽しいことだけではなく、様々な困難や壁にぶつかることもありました。しかし、その様々な困難にもメンバーさんたちの笑顔や輝いた瞳に癒され元気をもらい、ボランティアさんをはじめ、多くの地域の方々、団体の皆様にご協力いただき、一つ一つ乗り越えられることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今後もメンバーさんや地域の多くの方々への感謝を忘れずに邁進していきたいと思っています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【編集部】

人事異動のお知らせ(H20.7～H21.3)

新しい職員です。どうぞ宜しくお願いします。

支援員 長尾恵子 支援員 重富寛子

退職しました。みなさんお世話になりました。

理学療法士 前崎勇輝 支援員 福江綾子

支援員 村中大樹 支援員 河田直美

看護師 中島暁子